

【ユニット】 地域医療とチーム医療

【ユニットディレクター】

UD：柴崎 智美（医学教育学）

UD 補佐：米岡 裕美（教養教育） 金田 光平（医学教育センター） 井上 直子（医学教育センター）

【一般的な目標】

医師は病気の治療や予防のために診療や保健指導などを行い、ひとの生命・生活・人生に深くかかわる職業である。また、医師は医療及び保健指導を掌ることによって、公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もって国民の健康な生活を確保する（医師法第1条）という社会的責任がある。少子高齢化や医療費増大、人口減少社会を迎える地域社会・医療の課題を解決するために必要な基本的な知識、技能、態度、価値観を身につけることを通して、将来地域・社会で役に立つ医師になるための素養を育む。

【具体的な目標】

1年生の「地域医療とチーム医療」ユニットでは「生老病死障害」、「コミュニケーション」及び「ケアし・ケアされる自分」など、ヒューマンケアについて学んだ。2年生では患者を含む地域で生活する人々のQOL（Quality of life）の向上のために3つのLife（生命、生活、人生）を支えるひと、地域、社会の仕組みについて臨床入門ユニットにおける体験と併せて自ら考え振り返ることができるようになることを目指している。また、医師の法的な責務、医療経済、医療政策などの知識の習得と、それらを踏まえた地域で他の専門職を含む様々なひとと連携するために必要な技能と態度を身につける。

1. わが国の医療政策の現状を知り将来を予測することができる。
2. 要介護高齢者の暮らしを支える仕組みについて説明できる。マイルストーン 9-(1)
3. 認知症高齢者への対応方法について説明できる。マイルストーン 9-(1)
4. 認知症を含む高齢者の暮らしを支えるための地域医療の課題を説明できる。マイルストーン 9-(1)
5. 地域医療における総合診療・プライマリケアの意義を説明できる。マイルストーン 9-(1)
6. 医療関係法規に位置づけられた医師の責務について説明できる。マイルストーン 1-(5)
7. 医療における経済的側面の特徴を説明できる。
8. 保健医療福祉介護の現場で働く様々な専門職の専門性を理解し説明できる。マイルストーン 7-(1)
9. チームを作る過程とそのために必要なスキルについて説明できる。マイルストーン 7-(2)
10. 病める人々の心と身体の痛みと価値観を理解するために必要な態度、価値観を身につける。

【学習方法】

このユニットでは、学内外の実践者を講師として迎え、医師としての基本的な考え方や知識を学ぶだけでなく、様々な学習場面での知識や考え方を問う内容を扱う。遠隔の形態であっても、その時間に参加し、講義を時間通りに受講することを基本とする。受講時には、主体的に参加し、当事者の声や具体的な事例について、ひとりひとりの学生が自分の頭で対象とするLife（生命、生活、人生）を想像し、考え、自分なりに理解することを求める。

講義の事前学習や講義中または講義終了後の理解度を確認するためにWebClassを用いることがあるので、講義の日にはWebClassにアクセスできるようPCやipad、iphoneなどを持参しておくこと。

また、臨床入門、臨床推論、行動科学と医療倫理といった良医への道コースの他ユニットでの体験や学びとともに、本ユニットでの学びを統合し、理解するよう努めて欲しい。

1. 多様な個人の意見を聴く、意見交換することを目的としてグループワークを行う。

2. 講義に参加し、自らメモやノートをとる。
3. 講義中に紹介された書籍等に目を通す。
4. 医師になる上で必須の知識（法律や術語）は理解し覚える。
5. 本ユニットが評価を担当しているマイルストーンについて説明できるように復習する。
6. ユニットの最初の授業では、受講の仕方、ユニット内のルールなどについて説明するので、必ず出席すること。

質問等は、授業時間内、または出席課題の用紙に記載する事によって、UD, UD 補佐が講義担当者に回答を依頼する。

【評価方法】

本ユニットは良医になることを目指して、授業に参加し、課題に取り組むことを求めている。そのため、医師を目指す医学生としてふさわしくない態度、行動があった場合には、評価の対象とせず、不合格とする。

本ユニットは演習ユニットのため、75%以上の出席を求める。やむを得ない理由以外で出席不良の場合には、評価の対象とならないので、十分注意すること。毎回の出席は原則授業中に配付する出席課題の提出をもって出席を認める。出席課題にひと言しか書かれていないなど、出席したと認められない場合は、欠席として扱う。

ユニットの最後の講義で、ユニット内試験を行う。ユニット内試験は、WebClass を用いて行う。ユニットの評価は、ユニット内試験の結果と講義内で行われるグループワークの参加態度、レポートや毎回の出席課題の提出状況、提出内容で総合的に評価する。必要がある場合には再評価を行う。マイルストーン評価は、該当する講義の出席課題、レポート、ユニット内試験で評価を行う。マイルストーン評価で不合格の場合には、補習を行い再評価する。

【教科書】

- ◆ 国試・改訂コアカリ対応 地域医療学入門（診断と治療社）第2版（2024年）

【参考書】

- ◆ 保健・医療・福祉のための専門職連携教育プログラム 2019年 ミネルヴァ書房
- ◆ 新しいIPWを学ぶー利用者と地域とともに展開する保健医療福祉連携ー 埼玉県立大学編 2022年4月20日発行 中央法規出版
- ◆ 美しい死 森亘著

【授業予定表】

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
地域01	04月16日	(水)	5	高齢者を支える仕組み1	柴崎 (医学教育学)
地域02	04月21日	(月)	1	高齢者を支える仕組み2	柴崎 (医学教育学)
地域03	05月08日	(木)	3	「病を治す」ということ	江利川 (医療政策学) 金田 (医学教育C)
地域04	05月26日	(月)	1	社会福祉・地域福祉	柴崎 (医学教育学) 金田 (医学教育C)
地域05	05月27日	(火)	1	災害時の生活支援	柴崎 (医学教育学) 金田 (医学教育C)
地域06	05月28日	(水)	3	家庭医療と総合診療	加藤(寿) (医学教育C) 金田 (医学教育C) 柴崎 (医学教育学)

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
地域07	06月24日	(火)	4	地域医療構想	関本 (医学教育C) 柴崎 (医学教育学)
地域08	06月24日	(火)	5	地域の健康危機管理	関本 (医学教育C) 柴崎 (医学教育学)
地域09	06月27日	(金)	2	医療と法(医師の責務)	大平 (NCNP病院) 柴崎 (医学教育学) 金田 (医学教育C)
地域10	06月27日	(金)	3	医療と法(法の仕組み)	大平 (NCNP病院) 柴崎 (医学教育学) 金田 (医学教育C)
地域11	10月21日	(火)	1	地域包括ケアの進展と地域医療の展望	柴崎 (医学教育学) 金田 (医学教育C)
地域12	10月22日	(水)	1	地域の中での医療福祉介護	加藤(寿) (医学教育C) 柴崎 (医学教育学) 金田 (医学教育C)
地域13	11月04日	(火)	4	医療と経済1 (経済の捉え方)	山内 (慶應義塾大学) 柴崎 (医学教育学)
地域14	11月04日	(火)	5	医療と経済2 (マクロ的視点からみた医療経済)	山内 (慶應義塾大学) 柴崎 (医学教育学)
地域15	11月07日	(金)	1～3	地域基盤型IPW論	米岡 (教養教育) 柴崎 (医学教育学) 金田 (医学教育C) 高橋 (地域医学推進C)
地域16	12月10日	(水)	4	高齢者を支える仕組み3	荒船 (医学教育C) 柴崎 (医学教育学)
地域17	12月10日	(水)	5	公衆衛生と予防医学	柴崎 (医学教育学)
地域18	01月08日	(木)	1	まとめ (ユニット内テスト)	柴崎 (医学教育学) 金田 (医学教育C)

【備 考】

本ユニットの一部は彩の国連携力育成プロジェクトによる彩の国連携科目「IPW 論」に該当する。また、埼玉・群馬の健康と医療を支える未来医療人の育成事業教育プログラム 1 に該当する。 本ユニット終了までにマイルストーンが達成できるようにマイルストーンを意識しながら講義を受講すること。

【令和4年度版コアカリ対応】

PR-01-01-01 患者や社会に対して誠実である行動とはどのようなものかを考え、そのように行動する(利益相反等)。

PR-01-01-02 社会から信頼される専門職集団の一員であるためにはどのように行動すべきかを考え、行動する。

PR-01-02-01 自分自身の限界を適切に認識し行動する。

PR-02-01-01 患者を含めた他者に思いやりをもって接する。

PR-02-02-01 自身の想像力の限界を認識した上で、他者を理解することに努める。

PR-02-02-02 他者を適切に理解するための妨げとなる自分や自集団の偏見とはどのようなものかを考え、意識して行動する。

PR-02-03-01 医師に求められる品格とはどのようなものかを考え、それを備えるように努める。

PR-02-03-02 礼儀正しく振る舞う。

PR-03-01-02 答えのない問いについて考え続ける。

PR-04-01-02 多様な価値観を理解して、多職種と連携し、自己決定権を含む患者の権利を尊重する。

GE-03-05-01 老化に伴う臓器や身体機能の変化、それに伴う生理的変化、老化機構について理解している。

- GE-03-05-02 高齢者総合機能評価を実施できる。
- GE-03-05-03 老年症候群（歩行障害・転倒、認知機能障害、排泄障害、栄養障害、摂食嚥下障害等）について理解している。
- GE-03-05-04 フレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドロームの概念、その対処法、予防について理解している。
- GE-03-05-07 日常生活動作に応じた介護と環境整備について理解している。
- IP-02-01-01 自らの知識や価値観を多職種及び他の医療系学部 of 学生に伝えることができる。
- IP-02-02-01 多職種及び他の医療系学部 of 学生と共に学び、成長できる。
- IP-02-03-01 医師の役割を多職種及び他の医療系学部 of 学生に説明できる。
- IP-02-03-02 自らの価値観や言動について、多職種及び他の医療系学部 of 学生との関係性の中で、相対化できる。
- S0-01-01-01 公衆衛生の概念を理解している。
- S0-01-01-03 予防の段階とそれらの戦略を理解している。
- S0-01-05-01 健康危機の概念と種類、それらへの対応（リスクコミュニケーションを含む）について理解している。
- S0-01-05-02 健康危機管理（感染症、放射線事故、災害等の有事）に関連する基本的な制度や法律を理解している。
- S0-01-05-03 災害拠点病院、種々の活動チーム等、災害保健医療の意義を理解している。
- S0-04-06-01 経済が医療に与える影響について理解している。
- S0-04-07-01 医療資源を公平に分配するとはどういうことか考え、自らの意見を述べることができる。
- S0-05-01-01 医師法が定める医師の職権と義務を理解している。
- S0-05-01-04 医療計画について概要を理解している。